

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【公開番号】特開2004-266875(P2004-266875A)

【公開日】平成16年9月24日(2004.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-037

【出願番号】特願2004-185274(P2004-185274)

【国際特許分類】

H 0 3 F 1/30 (2006.01)

H 0 3 F 1/32 (2006.01)

H 0 3 F 3/19 (2006.01)

H 0 3 F 3/24 (2006.01)

【F I】

H 0 3 F 1/30 A

H 0 3 F 1/32

H 0 3 F 3/19

H 0 3 F 3/24

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コレクタ端子が信号出力端子に接続されたエミッタ接地バイポーラトランジスタと、上記エミッタ接地バイポーラトランジスタのベース端子と、上記信号出力端子と独立したベースバイアス電圧供給端子と、の間に接続された抵抗と、

上記エミッタ接地バイポーラトランジスタのベース端子と上記ベースバイアス電圧供給端子との間に上記抵抗に対して並列に接続され、直流成分に対して開放であると共に交流成分に対して導通であるインピーダンス回路部とを備えたことを特徴とする電力増幅器。

【請求項2】

請求項1に記載の電力増幅器において、

上記インピーダンス回路部は、

一方の端子が上記エミッタ接地バイポーラトランジスタのベース端子に接続され、他方の端子が信号入力端子に接続された第1のインピーダンス回路と、

一方の端子が上記信号入力端子に接続され、他方の端子が上記ベースバイアス電圧供給端子に接続された第2のインピーダンス回路とを有し、

上記第1のインピーダンス回路または上記第2のインピーダンス回路の少なくとも一方が直流成分に対して開放であると共に交流成分に対して導通であることを特徴とする電力増幅器。

【請求項3】

請求項2に記載の電力増幅器において、

上記エミッタ接地バイポーラトランジスタと上記抵抗と上記第1のインピーダンス回路とが構成する増幅部を複数個だけ備え、

上記複数個の増幅部の第1のインピーダンス回路または上記第2のインピーダンス回路の少なくとも一方が直流成分に対して開放であると共に交流成分に対して導通であること

を特徴とする電力増幅器。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の電力増幅器において、

上記インピーダンス回路部は、

一方の端子が信号入力端子に接続され、他方の端子が上記エミッタ接地バイポーラトランジスタのベース端子に接続された第 1 のインピーダンス回路と、

一方の端子が上記ベースバイアス電圧供給端子に接続され、他方の端子が上記ベース端子に接続された第 2 のインピーダンス回路とを有し、

上記第 2 のインピーダンス回路が直流成分に対して開放であると共に交流成分に対して導通であることを特徴とする電力増幅器。

【請求項 5】

請求項 2 または 3 に記載の電力増幅器において、

上記第 1 または第 2 インピーダンス回路のうちの少なくとも一方が、キャパシタを有し、このキャパシタによって、直流成分に対して開放であると共に交流成分に対して導通になっていることを特徴とする電力増幅器。

【請求項 6】

請求項 4 に記載の電力増幅器において、

上記第 2 のインピーダンス回路は、キャパシタを有し、このキャパシタによって、直流成分に対して開放であると共に交流成分に対して導通になっていることを特徴とする電力増幅器。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の電力増幅器において、

ベース電圧供給手段を備え、

上記ベースバイアス電圧供給端子と上記ベース電圧供給手段との間に、可変インピーダンス回路が接続されていることを特徴とする電力増幅器。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の電力増幅器において、

上記可変インピーダンス回路は、ダイオードあるいはバイポーラトランジスタを含んでいることを特徴とする電力増幅器。